

平成 22 年度第 1 回根室市市政モニター会議 記録

1. 日 時 平成 22 年 7 月 27 日 (火) 午後 6 時 30 分

2. 場 所 市役所 3 階 大会議室

3. 出席者 【市政モニター】 9 名

【市 側】

長谷川市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民福祉部長、水産経済部長、
建設水道部長、教育部長、病院事務長、消防長

【司 会】総務課長 【会議進行】総務部長

4. 長谷川市長挨拶

第 1 回目の市政モニター会議に、夜間の開催にも関わらずご出席いただきありがとうございます。今年度は 17 名の方に市政モニターの委嘱をさせていただいた。皆さんからのご発言は、今後の行政運営に十分に反映させたい。

本年度の市政方針には 産業振興と「ふるさと再興」政策の推進 協働のまちづくりと地域主権への対応 市立根室病院の医療体制の充実と建設の推進 北方領土問題解決に向けた戦略的な環境づくりという 4 つの重点事項を掲げ、行政と議会、産業経済界、市民がそれぞれの特性や潜在力を発揮し合える「協働のまちづくり」のさらなる進化を目指し、根室市の再生・再興への取り組みを進めている。

4 月には喫緊の諸課題に対応するため、市役所庁舎内に「総合政策部」を創設して組織強化を図ったほか、6 月には根室市と東海大学海洋学部との相互協力の調印を行い、水産業を活かした地域振興をはじめとした研究がスタートした。市立根室病院の新築も、今年度 1 月には実施設計が完成し、さらなる協議・検討を重ねた上で平成 24 年 12 月の完成を目指した工事が進められる。

6 月 1 日、重要港湾根室港が開港 100 周年を迎え、水産拠点都市としての輝かしい発展を遂げてきた根室市にとっては記念すべき年である。様々な記念行事が展開されているので、皆さんと共に節目の年を祝い、さらなる発展を目指したい。

人口は 6 月末で 29,772 人と減少し、様々な課題が山積みとなっているが、オール根室でことにあたれば打開できるものと確信している。本日は市政全般に渡ったご意見をいただきたいと思っているので、よろしく願いしたい。

5. 座席表により出席者紹介 (総務課長)

6. 市政モニター制度についての説明 (総務課長)

7. クールビズについての説明 (総務部長)

8. 以下、会議詳細

歯舞地区小学校の統廃合について

モニター 歯舞地区の小学校を平成 23 年度から統合するという話がでていたがどうなったのか。

教育部長

半島地区小学校の適正配置については、配置方針に基づいて平成 19 年度から進められており、昨年 11 月 10 日にも話をした。協議会の中では、併置校として小中学校一環で歯舞中学校に隣接する形で検討願えないだろうかと話された。新築となる場合の財源などを含め、歯舞中の敷地面や他地区からの通学方法の問題などを検討している。今後の配置計画を含めて、もう少し時間をいただき、皆さんからのご質問・ご提言を整理してから地区に説明に伺う予定である。

モニター 各町会単位での説明をしてくれるのか。

教育長

昨年 3 月、歯舞地区の連合町内会会長と意見交換を行い、統合についてはご理解をもらった。華岬小学校での改築では、道路の状況による子どもの通学の安全性などの指摘もあり、どのような方法があるか検討しているところで、内部で詰めてきている。近いうちに連合町内会会長の集会の場で検討状況の説明をしなければならないと思っている。遅くとも年内には教育委員会の検討状況を説明に行きたいと思っている。

子育て支援施設の開設について

モニター

中標津町にある「ゆめの森公園」のような親が安心して遊ばせてあげられる施設（屋内型）があればいいと思う。根室に施設があれば、経済効果も出るのではないか。

教育部長

そのような意見が多いのは事実である。過去にアスレチックを整備した経過があり、これは市民の声を反映したものである。大規模な施設を考える場合には規制の問題がある。今年は総合計画をつくるが、その中でどういうことができるか考えることになる。現段階では総合運動公園もあり、施設的には充実していると思う。今後のまちづくりの中では大事な部分ではあるが、教育委員会では計画は有していないので、今後の検討課題である。

長谷川市長

ゆめの森公園は道立である。ゆめの森公園開設よりも数年前、根室は支庁所在地なので施設の希望を聞かれ、二ホ口を建設してもらった。ゆめの森公園は根室市民も利用するなど集客力があり、帰りは中標津の店で買い物をしていくという流れは認識しているが、子育て支援の施設は規制や財政面などの問題があり難しい。他の市町村を見ても公営での子どもの遊び場はあまりない。根室市には児童公園や運動公園はあるが、どういう施設が望ましいのか総合計画の中でできることを検討していきたい。

海星小中学校に係る児童教室の開始及びスクールバスの運用について

モニター

海星小中学校に通う子どもがいるが、地方は漁師が多く、子どもが一人で家にいる状況の家庭も多い。海星小中学校でも児童教室はできないか。

海星小中学校はスクールバスの通学となっているが、温根沼は対象外である。熊が出た時の翌日1日だけ利用できたが、その後は各家庭での送迎となってしまった。送迎できない家庭もあるので、緊急時のスクールバスの対応を考えてほしい。

教育部長

市内には7つの児童会館、歯舞と花咲港には児童教室がある。花咲小学校地区は鳴海児童会館と駒場児童会館があったが、昨年の4月からは花咲小学校の空き教室に児童教室という形で集約した。今後も昭和・光洋児童会館は成央小学校に、西浜・花園・青葉会館地区は北斗小学校に集約すると考えている。このことについては学校とも話をしたが、5時くらいまでクラブ活動をしていると聞いた。児童教室が児童を預かる時間も5~6時くらいである。市街地区でも集約化をしているのが現状だが、学校との間で模索できる点があれば検討したい。

緊急時のスクールバスの利用について、第一は生徒の安全なので考えなければならないが、スクールバスにも基準がある。どういう方法がとれるかは全体の問題になるので、検討して回答をしたい。

7/29(木)次のとおり電話にて回答した。

- ・昨年の6月26日、海星小中学校への通学路において熊が出没したとの報告を受け、児童生徒の安全確保を図るため、スクールバス利用対象外の児童生徒についても乗車をさせて下校させたものである。
- ・今後も緊急時には同様の取り組みをしていくが、その対応期間等については、状況等を踏まえて学校等とも協議し、児童生徒の安全確保を第一に考えて対処していきたい。

幌茂尻・温根沼地区の鹿対策・街路灯の設置について

モニター

幌茂尻・温根沼地区は鹿の横断が多いので、ある程度の防護柵をしてほしい。また、交通量が激しく危険なので、街路灯をつけてほしい。

建設水道部長

街路灯について、海星小中学校に行く道路の管理は道になる。この件は学校関係から要望が来ているので、管理者として連携をとりながら道と協議を図っている。鹿柵は難しいかもしれないが、協議していきたい。

市立根室病院について

モニター 市立病院は5階が空いているが、寝たきりの方が入院できるようにできないのか。

病院事務長

病院の病床区分は、一般病床と療養病床がある。現在は199床で、厚生労働省からは一般病床で許可をもらっている。5階(55床)の閉鎖については、看護師体制がかなり厳しく、入院患者が減少してい

る点を踏まえた上で実施している。療養病床については新病院建設計画でも議論されたが、種類を変更するには法的手続きが必要で、「医師体制の充実」という条件をクリアしなければならない。医師数を確保するのは現状では困難であり、新病院は一般病床で計画している。現在の運営は、90日以上入院すると診療報酬が下がる制度があるが、可能な限り入院していただいて、介護福祉施設などとの地域連携をとりながら対応しているのでご理解を願いたい。

厚床支所廃止に伴う市職員削減について

モニター

厚床支所の廃止については職員削減を理由にしていたが、削減は予定通り進んだのか。

総務部長

昭和53年から市では行政改革を進め、職員定数・事務事業の見直しなどの項目に沿って、厚床支所・花咲出張所を廃止した。交通の便やFAX、電算化などが進んだことが理由で、地域住民から意見をいただいて進めた。当時は、職員700人、嘱託・臨時を合わせると1000人が勤務していたが、現在は500人余りである。背景は、行政サービスを極力下げないように配慮した引き下げであり、行政コストを含めた上で住民と協議して理解をいただいたと思っている。地域だけではなく、市内部分についても職員を削減しているので全地域に渡っており、その分職員も汗を流すのでご理解願いたい。定数上の削減目標はクリアしている。

厚床消防分遣所について

モニター 厚床の消防分遣所は職員が通っているのか。

消防長 昼は職員が当直している。休日は職員が交代する。

厚床墓地の整備について

モニター 厚床墓地は、木が邪魔で使いづらい。きれいに使うためにも整備してほしい。

市民福祉部長

町会からの要望は承知していないが、現場に担当者を行かせて町会の方の相談を受けたい。

ジェネリック薬品について

モニター ジェネリック薬品のパンフレットを見るが、市内薬局でもいただけるのか。

モニター 薬局に相談すれば、対応してくれる。

厚床小学校の体育館整備について

モニター 厚床小学校の体育館も老朽化しているが、いつ頃整備するのか。

教育部長

私も見たが、かなり古い状況で、ご不便をかけていると思う。何年度に改築するとはまだはっきり言

えないが、計画自体は事業費の試算も含めて検討している。

市営住宅の抽選について

モニター 市営住宅の抽選について、前回落選した者への優先的な措置はできないのか。

建設水道部長

光洋町の公営住宅は、基本的に現在入居している方のための建替事業で、今回はたまたま希望者がいなかったのので、10件ほど抽選した。来年以降もそういう形になると思う。抽選は毎回受付でやっているのので、優遇措置は取れないことを理解していただきたい。その他住宅の申込については年間100件ほどの申込があり、空き待ちとなっている。場所ごとに希望数が違うので、了承していただきたい。

西浜墓地の返還について

モニター 西浜墓地にあるお墓を利用していない。市へ返すことはできるのか。

市民福祉部長

西浜墓地は土地を区分けして貸している。市で場所と面積と使用料を抑えているので、返還するのであれば、市民環境課へ相談していただきたい。

水中水族館の建設について

モニター

根室市に宿泊する方などを増やすため、納沙布岬に水中水族館をつくってはどうか。

水産経済部長

水中水族館はよいと思う。しかし、納沙布は流水が来た場合などは相当な金額がかかるほか、北方領土問題もあるので難しいと思う。根室市は「通過型観光」ではなく、「団体から個人へ」、あるいは「滞在型観光」を目指しており、落石ネイチャークルーズもそのひとつになると期待している。道の駅や納沙布岬などの核となる施設は、「おもてなし」などについて講師を招き、資質を高めている。根室は温泉がないのが残念であり、本年度に温泉調査をやるため、予算付けをした。日本人は温泉を起点に観光する傾向があり、阿寒や川湯の観光客が多いのはそのためだと思う。根室の魅了資源を含め、しばらくは鳥などで観光PRを続けていきたい。

総合文化会館多目的ホールの電圧について

モニター

若い人たちの娯楽はロック・インディーズアーティストのライブ活動である。総合文化会館多目的ホールはオールスタンドで実施するにはとてもよい場所だが、電圧が足りないので、200Vの機材が使えず残念である。今ある施設を少し改築することで、若い人たちの想像力が働いてもっと利用が増えるのではないかと。

教育部長

施設的な緩和等を含めて、担当へ確認させる。また、対応できる場合は経費などを確認し、現場と詰

めていきたい。総合文化会館は現在もかなり利用があり、地元としての文化を構築する上で重要な施設なので、改善に向けて努力したい。

中高生のまちづくり参加について

モニター

青年会議所では、青少年は大人がサポートしないとうまく思いを発揮できないと考え、根室の高校生にまちづくりに参加してもらう企画し、昨年は領土問題についてもいろいろ実施した。まちづくりに関しては中高生が参加できる機会がないので、積極的に絡める場をつくってほしい。

総合政策部長

青年会議所の催しは大変良いと思った。冒頭の市長の話でもあったが、根室市の人口は29000人台になった。根室に求められているのは、人口減に対応して産業の活性化を図り、ふるさと再興のための様々な施策を展開することが必要である。市民が行政に参加または協働の形で施策を展開する連携意識を高めるのは大事で、青年や中高生が参加できる仕組み作りを進めなければならない。青年団体が主流となった中高生の指導や中高生自らが主体性を持って活動するものへの手助けなど、いろいろな方法があると思う。現在、ふるさと再興のためのプロジェクトを立ち上げている最中なので、ご意見を参考にしながら、出来る限り施策に反映したい。

市施設利用方法のPRについて

モニター

多くの根室市民は、施設の借り方がわかっていないと思うので、減免などの利用方法をPRしたほうがよいのではないかと。

総務部長

総合文化会館使用料などは条例で定めている。市民に目にかかるようなPRはあまりされていないと思うので、検討課題としたい。

施設見学会の実施について

モニター 施設見学会は年何回やっているのか教えてほしい。

総務課長

一般市民の方に参加していただくために実施しており、市政モニターの皆さんにも案内した。施設見学会は年3回ほどケースを変えて実施しているので、その都度ご案内したい。

市政モニター会議の開催について

モニター 2月のモニター会議は冬道が危険なので、日中にしてほしい。

総務部長

夏場は仕事などの都合を勘案して夜の開催にしているが、2月は日中の開催を予定しているのでよろ

しくお願いしたい。

地域に密着した教育について

モニター

授業が終わるとすぐに帰ってしまう教師が多い。家庭の事情もあるだろうが、もっと地域に密着した活動をしてほしい。

教育部長

地域に根ざした形の教育についてはいつもお願いしているが、家庭の事情などで残念ながらそうっていない教師もいるのは事実である。どの学校の先生も地域のコミュニケーションは大事だと思っていると思うので、再度、学校を通してお話をしたい。

6．閉会挨拶

長谷川市長

本日は活発で有意義なご意見をいただきありがとうございました。次回は2月の会議となるが、普段感じたことやご意見を寄せていただきたい。広報広聴担当を経由していただければ、1年を通してご意見を寄せることもできるので、よろしくお願いしたい。

総務課長　　以上をもちまして、第1回目の市政モニター会議を終了いたします。